



やなぎさわ ひろき  
柳 沢 浩 之  
(清風クラブ)

### 児童虐待防止・外国人材の受け入れ と共生のための行政の取り組み・路 線バスについて

子どもたちの心身の成長と人格形成について

問 児童虐待の相談件数は。

答 本年度12月までの9カ月間で実数は16件でした。年々増加傾向にあります。

問 本市の対応と対策は。

答 子どもの最善の利益と保護者支援のため相談窓口を設けて家庭児童相談を実施し、必要に応じて、保健師や家庭児童相談員が家庭等に出向いて、相談及び支援を行っています。

問 家庭児童相談体制の現状は。

答 子ども課に保健師1名、家庭児童相談員2名及び支所住民福祉課に保健師1名を配置し、対応しています。

問 家庭児童相談が年々増加傾向の中で、目が行き届く、余裕を持った適正な要員の配置なのか。

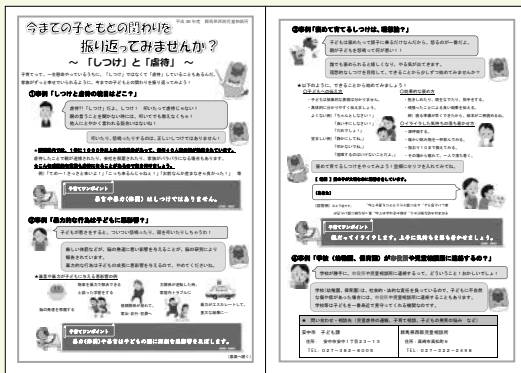
答 家庭への訪問回数が増えています。迅速かつ適切な支援を心がけています。

問 家庭児童相談員の役割は。

答 家庭における児童の適正な教育及び家庭児童福祉に関する専門的相談及び指導をしています。

問 児童相談所との連携は。

答 虐待に起因する行動面や心理面の問題が生じている子どもへの支援、保護者からの分離が必要など子どもの保護など気になる子どもとの情報共有を行っています。その他、外国人労働者の受け入れ態勢、交通弱者救済について質問しました。



パンフレット～「しつけ」と「虐待」～



むしや ようこ  
武者 葉 子  
(公明党)

### 安心して住み続けられるまちづくり・子育て支援事業について

地域包括ケアシステムについて

問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための地域包括ケアシステムの進捗状況は。

答 地域の医師や多職種の連携強化とネットワークづくり、職員が各地域での協議に参加し課題の掌握・解決に取り組み、自立支援につなげています。

問 人生の最終章をより充実させるために、自身の希望、残したい記録を書き留めるエンディングノートの活用は。

答 市内15か所で配布しています。介護予防教室やサロン等で説明し活用いただけます。

問 ちいき生活応援隊の活動状況は。

答 行政区単位で、地域の特性を生かした活動を進める地域もあります。ですので、活動状況を共有し、支援につなげます。

認知症・介護予防対策について

問 健常な状態と介護が必要となる中間の虚弱期のフレイル予防が注目されているが市の取組は。

答 フレイル予防は、早期発見、早期支援により、健常な状態に戻ることができる時期とされます。生きがい対応型デイサービス、栄養改善を目的とした配食支援、ちいき生活応援隊での社会参加・居場所づくり等、次年度は県の事業にも取り組みます。

その他、多世代交流型子育て支援拠点整備事業について質問しました。



市で作成した  
エンディングノート